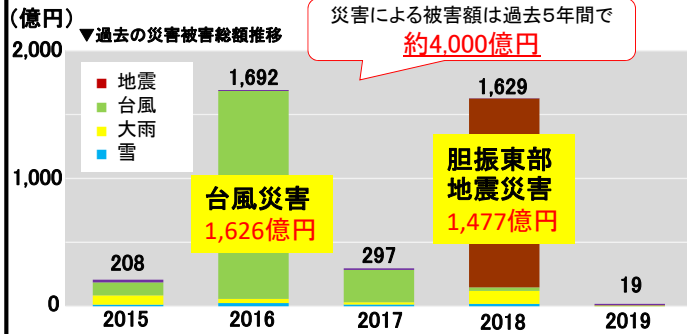


令和4年度 社会資本整備における国の施策及び予算に関する提案・要望

～コロナ後の新しい社会を開拓する北海道づくりを支える社会資本整備～

防災・減災、国土強靱化

度重なる災害で
多くの人命・財産を喪失



▼ペーバン川 (旭川市) 平成30年7月豪雨



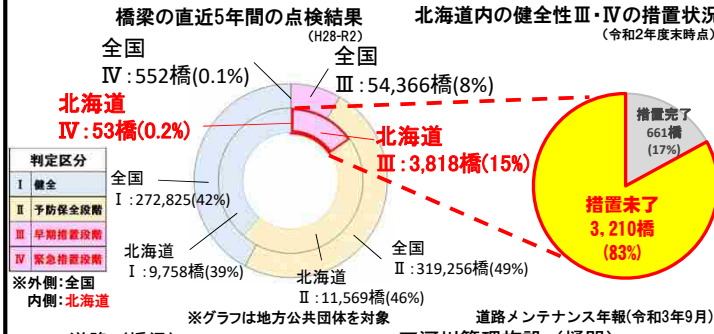
▼国道229号 (乙部町) 令和3年6月



出展: 北海道開発局HP
「国道229号乙部町区間崩落斜面対策技術検討会」より

インフラメンテナンス

施設数が多く
老朽化対策コストが膨大



▼道路 (橋梁)

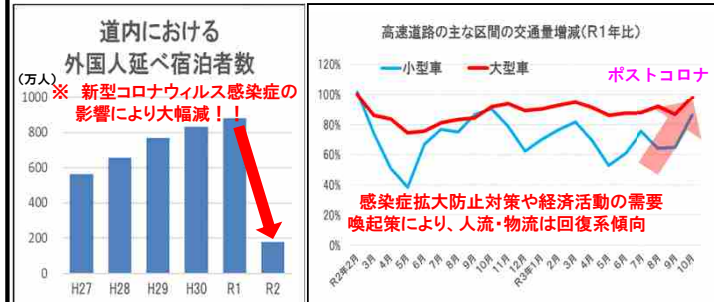


▼河川管理施設 (樋門)



地域産業を支える道路網の形成

地域産業の活性化を図り、道民の
生活や社会活動を支える道路網



※観光庁HPより

▼旭川東神楽道路 (旭川市・東神楽町)



※国土交通省HPより (E5道中央自動車道 深川～旭川鷹栖間)

▼きたひろしま総合運動公園線 (北広島市)



気候変動により激甚化する水害や、切迫する巨大地震等の自然災害に備え、**国土強靱化のさらなる推進が必要**

コロナ後を見据え、今こそ集中対策を！
予防保全型に移行できなければ、**トータルコスト増大や通行止めの危機**

経済活動の需要喚起とともに、
新たな日常下での**観光や物流、公共交通**
を支える**インフラ強化が不可欠**

【要望事項】

- 流域治水の推進
- 高規格道路のミッシングリンク解消やダブルネットワークの確保、暫定2車線区間の4車線化
- 5か年加速化対策予算・財源の確保

- 老朽化対策予算の確実な確保
- 老朽化対策に係る財政支援の拡充
- 維持管理に活用可能な交付金制度創設

- コロナ後の人流・物流を支える道路ネットワークや交通拠点の整備促進
- 通学路の安心・安全の確保

ゼロカーボン北海道の実現

暮らしやすく、豊かな脱炭素社会を構築し、
国の地球温暖化対策を先導することを目指す

～北海道の再生可能エネルギー導入ポテンシャルは**全国随一**～



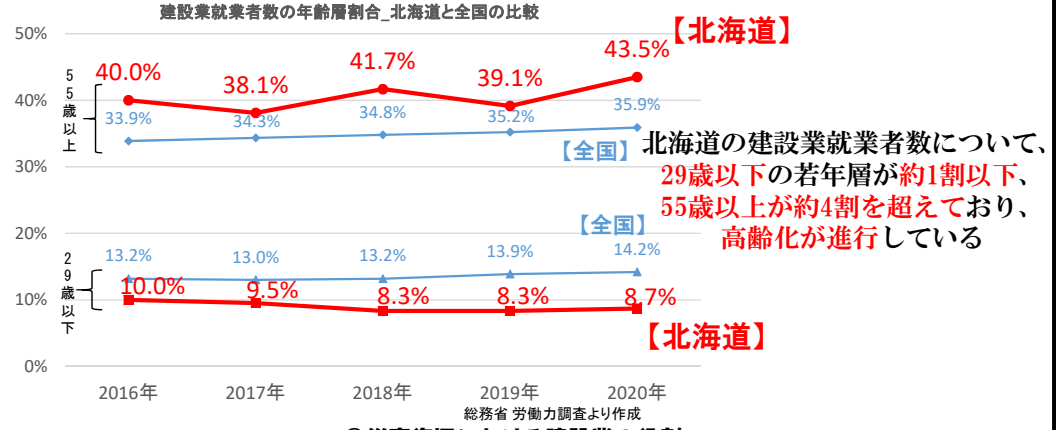
グリーン社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入促進、
省エネルギー化、吸収源対策等、
ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組の推進が必要。

【要望事項】

- 北方型住宅の普及やZEB・ZEH化、地域材の利用拡大に必要な財政支援
- 渋滞緩和などによる環境負荷の少ない交通体系の推進やLED照明灯の整備
- ダム未利用水や伐採木等を利用した再生可能エネルギーの導入・利用の拡大
- 「道の駅」を活用した次世代自動車の普及促進に必要な充電設備の整備に向けた支援など

デジタル化の推進による「Society5.0」の実現

建設業における若年層不足・高齢化が進行しており、
将来的な担い手不足が懸念



社会インフラ整備や、大規模災害時の早期復旧・復興など
「地域の守り手」としての役割を果たす



社会情勢の変化に対応し、建設業の役割を果たすため、
デジタル技術の活用による生産性の向上や
安全な労働環境の実現が必要不可欠。

【要望事項】

- ICT建設機械の活用等によるi-Constructionの推進
- 建設現場などにおける非接触・リモート型の働き方の実現
- 除雪業務や道路パトロール業務におけるデジタル化の推進